



横浜市立富岡東中学校

学校だより

第4号

発行日：令和 5年 7月20日

夏休みに入ります

校長 矢田 弘

7月20日の終業式で1学期が終わり、いよいよ夏休みを迎えます。子どもたちには1学期を振り返って、夏休みと2学期に備えてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症は、第9波の報道があるなどまだまだ心配ですが、学校の教育活動はほぼ予定どおりに展開することができています。特に、1学期は3年生の修学旅行、2年生の自然教室、1年生の鎌倉校外学習と、各学年共に子どもたちが楽しみにしていた行事を無事に終えることができたことは何よりだと思っています。

また、過去3年間はテレビ放送で行っていた生徒総会も、4年ぶりに全校生徒が体育館に集まって実施できました。どの生徒にとっても初めての経験でしたが、生徒会役員や専門委員会の皆さんがとても活躍してくれました。

さて、6月の末から、運動部では横浜市中学校総合体育大会が行われています。大会が行われる「土曜日・日曜日」に可能な限りいろいろな部活の大会を回りました。授業中には見ることができないような真剣な表情、躍動する姿を見ることができました。3年生にとって最後の大会となります。どの運動部も「負けたら終わり」という厳しいトーナメントです。

保護者の皆さんや教職員も応援に駆け付け、大きな声援を送っていました。残念ながら負けてしまった試合でも、仲間や保護者の声援は勝っていたのではないかと思います。

毎年のことではありますが、最後まであきらめずに真剣にプレイしている姿は、見ている人を感動させます。最後の試合が終わった時に流す涙は、真剣に取り組んできたからこそ流れる涙だと思います。3年間、仲間と励まし合って、一所懸命に取り組んだこと、そして、最後の試合を終えて流した涙は、子どもたちにとって生涯忘れられない財産になるのではないかと思います。

夏休みから多くの部活動で3年生が引退し、2年生が中心の「新チーム」で、今後の富岡東中の部活動を引っ張っていくこととなります。3年間、夢や目標をもって部活動に真剣に取り組んでいた3年生の思いを1・2年生はしっかりと受け取り、自分たちのこれからの活動に生かしてほしいと思います。3年生は、後輩に気持ちをしっかりと伝えて、今後の自分の将来に備えてほしいと願っています。（夏休み中に大会が予定されている部や県大会に出場する部、吹奏楽部はコンクールが予定されています。）

どんな活動でも「量」と「質」のことが話題となります。昔の話になりますが、私の中学時代や教員になってしばらくの間は、平日の毎日、そして土日や夏休みもほとんど活動していました。しかし、今では「部活動ガイドライン」が示され、「平日は週4日の2時間程度、土日はどちらか一日で3時間程度（大会等を除いて）」と制限されています。そのため、練習の「量」ではなく、「質」と「主体的に活動しようとする意識を高めること」が求められる時代です。「やらされる3時間の活動よりも、自分でやろうとする30分の活動」の方が効果的だということです。部活動だけでなく、学習活動にも「質の高い活動」を目指してほしいものです。

夏季休業中に祭礼等で子どもたちが地域の皆様のお世話になることがあると思います。子どもたちを見守っていただくとともに、心配なことがあれば声をかけていただくと幸いです。今年の夏も猛暑・酷暑が続くようです。部活動等を含め、活動するときには、睡眠を十分にとり、朝食をしっかりと食べて熱中症の予防に努めたいものです。また、海や川での水難事故が多く報道されています。「自分の命は自分で守る」意識をもって、安全に十分に留意することと健康管理をしっかりと、8月28日に元気な姿を見せてほしいと願っています。

よこはま国際平和スピーチコンテスト

令和5年度「よこはま国際平和スピーチコンテスト」金沢区代表者審査会が、6月28日（水）に金沢区役所で開催されました。本校でも校内選考会が行われて3年 ○○ ○○ さんが富岡東中学校の代表として審査会に参加しました。惜しくも区の代表者には選ばれませんでした。素晴らしい内容のスピーチでした。

消えた古里の姿

3年

みなさんにとって古里はどんな場所ですか。私にとって古里は古くから人々によって受け継がれてきた大切な場所であり、家族や友達と過ごすかけがえのない場所だと思います。それは世界共通だと思っています。

当たり前の日常が奪われたウクライナの人々の心の傷は私たちの想像以上でしょう。では、ロシアの人々は「悪」なののでしょうか。今、世界中でロシアの人々に対する差別が広がっています。私もなんでこんなことをするんだろうと感じましたが、国語の授業で読んだ井上ひさしさんの「握手」に登場するルロイ修道士の言葉が印象に残っています。それは、「日本人とかカナダ人とかアメリカ人といったようなものがあると信じてはなりません。一人ひとりの人間がいる、それだけのことですから」という言葉です。私はこの言葉を聞いて、ロシア人だからというただそれだけの理由で無意識にロシアの人々に怒りの矛先を向けてしまっていたことに気付かされました。このことこそ、平和への妨げでした。他にも、過去に新型コロナウイルスを巡り、欧米諸国で「アジア人がウイルスを運んできた可能性が高い」という偏見による差別的言動を耳にしたことがあります。偏見や差別はしてはいけないことだと分かっているながらも、なかなかなくなるのが現状です。無関係なアジアの人たちが非難の的になることはあってはならないことです。偏見や差別は恥ずべき行為だということを一人ひとりが自覚すべきだと思います。

私は戦争を経験したことがありません。私だけでなく、ほとんどの人がそうだと思います。これからの戦争をなくすために私たちにできることはあるのでしょうか。それは、戦争の醜さをよく理解し、相手の立場になって考えることだと思います。もし、自分がウクライナで暮らしていて自分の家族や友人が戦争によって亡くなってしまったらどう思うでしょう。きっと戦争を憎むと思います。みんながその思いをもっているなら、自然と戦争は起きなくなると思います。一人ひとりがリスペクトし合い、理解し合うことで戦争はなくすことができます。戦争で奪われたものは簡単には戻ってこないけれど、一人でも多くの笑顔を救えるように戦争のことをよく知り、自分のできることに取り組んでいきたいと思っています。

※「よこはま国際平和スピーチコンテスト」は「よこはま子ども国際平和プログラム」の事業内容の一つです。スピーチコンテストで『市長賞』を受賞した小学生2名、中学生2名は「よこはま子どもピースメッセンジャー」として委嘱され活動を行います。

薬物乱用防止教室を開催しました

6月27日(火)に本校体育館で、2・3年生を対象にして神奈川県立精神医療センター 精神保健福祉士 小林千香子先生にご講演いただきました。違法薬物だけではなくカフェインや風邪薬など身近な薬物でも依存がおこることや、悩みやストレスを一人で抱え込んでいる人が薬物に依存しやすいことなどを教えていただきました。



・誰かに相談することは大切で、そもそも薬物は使ってはいけないということをあらためて知ることができました。(2年)

・ぐちをいうことをおすすめされてびっくりしたけど、ふだんからなんでも相談できる友達がいるので、ストレスをためすぎないように、時々発散していきたい。(2年)

・薬物を使ってしまっている人も何かつらいことがあったんだと知ることができました。周りの使ってしまった人や、何かつらいことがあった人の相談にのって少しでも助けられたらなと思った。(3年)

・最近はどうも薬物が身近にせまってきていることを知り、より一層注意をしていく必要があるなど感じました。そして周りに頼れる人がいるありがたみを感じようと思いました。どんな理由があっても薬物はだめだと深く理解しました。(3年)

・薬物乱用はとても怖く、自分は絶対しないと決めたとともに、もし友達が薬物の乱用をしてしまったら、その気持ちに寄り添えるようになりたいと思いました。(3年)

救急救命講習を実施しました

7月6日(木)に2年生で、幸浦消防所と消防団の皆さんを講師として、救急救命講習を実施しました。例年、夏休み前のこの時期に、2年生で救急救命講習を実施しています。当日は、要救助者への対応について、心肺蘇生法トレーニング・マネキンを使用して一人ひとりが、実際に救命方法を体験学習しました。終了後には、一人ひとりに講習修了証が渡されました。

・初めて救命処置のやり方を教わりました。しっかりと手順を守らないと命が助からないことが分かりました。他にもAEDの使用法、置いてある場所などを一から教わることができました。これからは今日教わったことを、必要な場面では生かしていきたいです。一人でも多くの命を助ける気持ちをいつまでも忘れないようにしたいです。人は人が助ける、人を人で命をつなぐことが解りました。

(2年)

・救急救命講習を受けて学んだことは、倒れてしまった人を見たら素早く行動し、救急処置を行うことが大切だということです。以前に、私が電車に乗っていた時に、気分が悪くなったのか、突然倒れてしまった人がいました。私はその時何もできず、パニックになってしまいました。そんな時、救命講習を受講していた母が冷静に対処して処置をしました。私も母のように、そのような場面にあった時は、救急救命講習で学んだ「素早く冷静に対応すること」を意識してできるように、これからも機会を見つけて講習を受けていきたいです。

(2年)

職場の学び場 Jr

7月6日(木)3年生は総合の時間で6つの専門学校と1つの私立高校の先生を講師として、6つの体験講習会を行いました。

コースは、調理体験、ゲーム制作、作曲、ダンス、ものづくり、ビジネスそれぞれに事前の希望に基づいて体験学習に取り組みました。調理体験の飾り切りでは、始めは切りすぎていた生徒も、切り幅と深さもそろった綺麗な飾り切りを見せてくれました。体験を通じて将来を考えるきっかけにしてほしいものです。

○学校閉庁期間について○

学校閉庁期間：令和5年8月10日（木）～16日（水）

学校閉庁期間中は、原則部活動は行いません。ただし、公式試合・公式大会等が行われる、または、閉庁期間後に開催される場合は、部活動を実施する場合があります。

学校閉庁期間中は、学校にご連絡いただいても電話対応等できません。8月17日（木）以降にご連絡ください。（閉庁期間中に、部活動を実施する場合は、顧問より欠席等の連絡先を別途ご連絡いたします。）

学校閉庁期間中に事故や事件に巻き込まれた等、学校関係者へ緊急に連絡を取りたい場合は、次の緊急連絡先に連絡をお願いします。緊急連絡先から本校関係者に連絡が入ります。

○緊急連絡先及び電話番号 [電話対応時間 平日 8時30分～17時15分]

・南部学校教育事務所指導主事室 ☎ 045-843-6408

学割証の発行について

長期休業期間中にご旅行を予定されていて、「学校学生生徒旅客運賃割引証」（学割証）の発行を希望される場合は、随時お申し込みください。【平日のみ（閉庁期間を除く）、事前に電話で連絡をお願いします。】

交付申請書は、富岡東中学校WEBページからダウンロードできます。

TOPページのメニューより 各種手続き>学割証発行手続き に進んでください。

*ご自宅で印刷できない場合は、学校にも準備がありますのでご連絡ください。

当日必要な持ち物：生徒手帳、印鑑*

*自宅でダウンロードし、必要事項を記入して持参された場合は不要です。



外壁塗装工事及びサッシ交換工事のお知らせ

本校では、7月1日（土）～10月20日（金）の期間を工期として、校舎のF棟とG棟、E V棟と変電室棟の外壁塗装工事と、中央廊下棟、E棟の中庭側の窓サッシ交換工事を実施します。

生徒の学習活動に支障のないように、課業期間中の土日と夏季休業期間中に集中した、作業工程を予定しています。

工事種類の関係上、天候に左右されることがありますので、工期には余裕をもっていますが、工期が伸びる場合があることをご承知ください。

※工事期間中は、作業員・警備員の指示に従ってください。

